

木曽三川だより

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

国土交通省中部地方整備局
木曽川下流河川事務所

管内NO.145 **2017. 8**

水面利用者のマナーアップを図るため、合同パトロールを実施しました

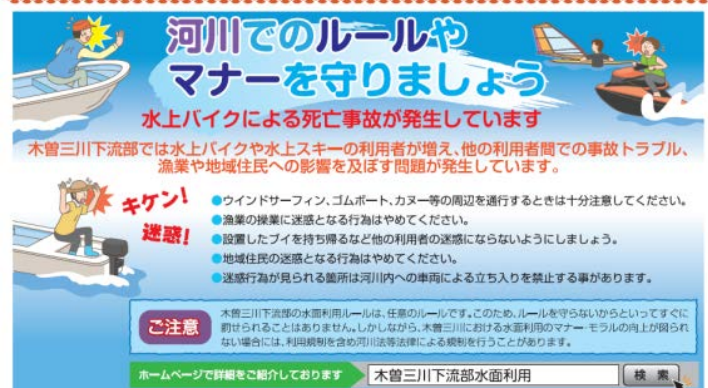
木曽三川下流部では水面利用のニーズが高く、近年は特に水上バイクの利用者が増え、漁業関係者や地域住民、他の利用者とのトラブルが発生しています。木曽三川下流部水面利用協議会では、水面利用者のマナーアップや安全な利用を目指し、7月9日（日）に第2回合同パトロールを実施しました。

利用マナーが悪く苦情やトラブルが頻発していた押付地区（木曽川右岸）は、やむを得ず6月30日より完全締切をすることとしました。締切後の動向を把握するため、管内全域の水上バイク隻数調査を定期的実施しています。

また、水面利用ルールの周知と地域の方々の意識向上を目指して、水面利用のマナーアップに関する記事に関係市町の広報誌へ掲載するなど、安全で快適な水面利用を図るため、みなさまのご協力をお願いします。



合同パトロールの様子



広報誌掲載イメージ

九州北部豪雨災害被災地へ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣しました

九州北部豪雨災害発生に伴い、平成29年7月11日～17日、木曽川下流河川事務所から TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣し、福岡県田川郡添田町の被災状況調査等を行い、調査結果を取りまとめて添田町に報告し、無事帰還しました。

【被災状況調査日程】

- 7月11日 木曽川下流河川事務所を出発
- 7月12日～ 添田町管理の河川にて被災状況調査
- 7月16日 添田町へ被災状況調査報告書提出
- 7月17日 木曽川下流河川事務所へ帰還



事務所出発式



被災状況調査



報告書提出

また、職員帰還後には所内報告会を開催し、今後の TEC-FORCE 派遣に備えて、被災状況調査を実施する際に配慮すべきことや課題等を議論し、職員一同で情報共有しました。



所内報告会の様子

第2回 木曽三川下流部広域避難実現プロジェクトを開催しました

伊勢湾台風を超えるような大規模水害が生じた場合、海拔ゼロメートル地帯が広がる木曽三川下流部では、高潮、洪水による広域的、長期的な浸水が想定されます。そのような状況下においても犠牲者ゼロを実現していくため、6月3日（土）、桑名市民会館において、8市町村（桑名市、木曽岬町、海津市、弥富市、愛西市、津島市、蟹江町、飛島村）の首長、片田敏孝 東京大学大学院 情報学環特任教授とともに、地域住民の防災意識向上や広域避難の実施に向け必要となる取り組みについてディスカッションしました。

伊勢湾台風を経験された首長からは当時の体験談が語られました。また、犠牲者ゼロを実現していくためには早めの避難行動が不可欠であり、防災意識が低く、避難意志の弱い地域住民の意識をいかに高めていくかが重要であるとの意見があげられました。



公開によるディスカッション



関連パネルの展示

高速道路からの資材搬入訓練、水防訓練（水のう）を実施しました

木曽三川下流部で広域的な浸水被害が発生した場合、一般道路から堤防復旧箇所へのアクセスが困難になることが予想されるため、高速道路から復旧に必要な資機材を直接搬入できるよう、NEXCO 中日本桑名保全・サービスセンターと協定を締結しています。協定に基づき、有事の際に的確に資機材の搬入ができるように、6月6日（火）、桑名市長島町において東名阪自動車道から木曽川の河川堤防へ大型土のう、水のう（水防資材）をクレーンを用いて直接搬入し、搬入した水のうを堤防天端に設置し、散水車より水を注入する水防訓練を三重県建設業協会桑名支部とともに実施しました。

水のうを設置した建設業協会の方からは、「従来の土のうに比べ少人数で素早く設置できる水のう工法を経験できて良かった。水害にはしっかり備えたい。」との感想をいただきました。



高速道路からの資材搬入訓練

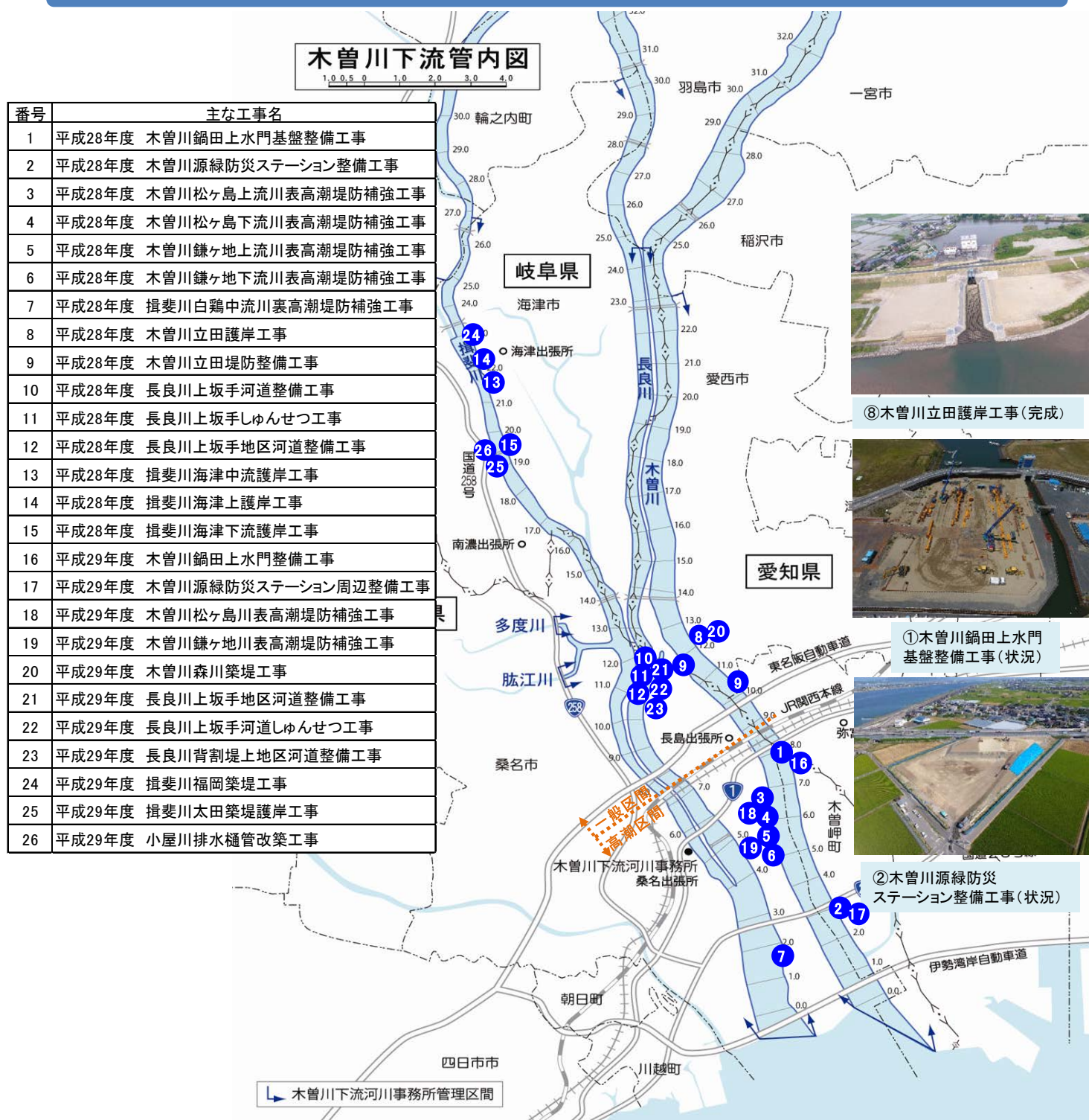


水のう設置

平成29年度の事業方針

- 高潮区間については、水門や樋管部、橋梁との交差区間を除く部分が既に完成し、高潮堤防補強工事に伴う鍋田上水門の改築を引き続き実施します。
- 一般区間については、堤防の嵩上げ・拡幅・補強、護岸の整備を実施し堤防の安全性を高めていきます。木曽川左岸森川地区（愛西市）及び揖斐川左岸本阿弥新田地区（海津市）において堤防整備を引き続き実施します。揖斐川右岸太田地区（海津市）においては、特殊堤区間の堤防整備を引き続き実施します。長良川において、河川整備計画流量に対応した洪水を安全に流下させるために河道掘削（しゅんせつ）を引き続き実施します。
- 地震・津波対策については、今後、発生が懸念される南海トラフ巨大地震に備え、耐震補強工事を実施し、地震による津波等の浸水被害の軽減に努めます。木曽川源緑地区において、河川防災ステーション整備の整備を引き続き実施し、平成29年度中の完成を目指します。

平成29年度の主な工事を紹介します



東江小学校と高鷲小学校が合同でカワゲラウォッチングを実施しました

6月2日（金）、海津市立東江小学校4年生11名が「パックテスト・透視度計」を用いた水質調査を実施しました（平成19年度から実施しており、今年で11回目）。

また、6月23日（金）には、郡上市内の中ノ島公園においてカワゲラウォッチング（当事務所若手育成プログラムの一環）を実施しましたが、東江小学校から高鷲小学校へ、6月2日に実施した水質調査結果（長良川下流域の水の状態）を贈呈するなどの交流もあり、両校の児童でグループを作り協力して実施していました。

なお、分水嶺公園での東江小学校の児童による水質調査では、透視度計を覗いた児童から長良川の水の透明度に驚きの声が上がっていました。

郡上土木事務所河川砂防課、海津市役所にご協力頂き、無事に実施することができました。



東江小と高鷲小の交流の様子



カワゲラウォッチングの様子

「防災フェア桑名2017」 in イオンモール を開催しました

平成29年7月16日（日）17日（月）の2日間、木曽川下流域の地域防災力向上を図るため、イオンモール桑名において「防災フェア桑名2017」を防災関係17機関参加により開催しました。

地震体験車、降雨体験機などの体験型機材、災害対策車両の展示、液状化実験や防災クイズ、自衛隊の炊き出し等により多くの人（催事参加者約8,200人）で賑わいました。

併せて、木曽川下流域8市町によるイオンモール桑名への広域避難訓練を行いました。



照明車操作体験・制服体験



排水ポンプ車の展示



広域避難訓練（桑名市長）

「木曽三川だより」問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 木曽川下流河川事務所

〒511-0002 桑名市大字福島 465 TEL0594-24-5711 FAX0594-21-4061